

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和6年9月3日（火） 13:30～16:00
場 所	沖縄県立図書館 6階研修室
出席委員名	山口真也委員（会長）、榮野川敦委員（副会長）、金城伸子委員、奥平知恵美委員、安藤由美委員、田端一正委員、松前英行委員、吉村聡子委員、呉屋美奈子委員（9名）
議題及び報告事項	報告事項1 令和6年度運営体制及び令和5年度図書館利用状況について 報告事項2 「沖縄県立図書館窓口等運営委託業務」に係るモニタリング（令和4年度対象）について 報告事項3 令和5年度沖縄県立図書館利用者満足度調査報告 協議事項1 沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（令和5年度対象）について
会議の概要	報告事項3件及び協議事項1件について、質疑応答及び協議を行った。各議題に係る委員からの質疑、協議結果等については別紙のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 大城・亀川 電話 098-894-5858
備 考	

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和6年9月3日（火） 13:30～16:00
場 所	沖縄県立図書館 6 階研修室
会議の概要 (委員からの質疑等)	<質問> 報告事項1 令和6年度運営体制及び令和5年度図書館利用状況について ○令和6年度に沖縄県立図書館の班体制が、3班から4班になった要因について。 〈回答〉令和5年度までは総務班、資料班、奉仕班の3班体制。奉仕班で担当していた離島・市町村支援等の非来館型サービスについて、奉仕班を「調査・サービス班」と「企画・支援班」に分け、「企画・支援班」で非館型サービスを主に担当し、サービスの充実を図る目的で4班体制とした。 報告事項2 「沖縄県立図書館窓口等運営委託業務」に係るモニタリング（令和4年度対象）について ○評価はどのような形で行ったか。 (回答)委託業者に調査書の提出を求め、提出された調査書の内容（取組内容、自己評価等）を図書館側において作業部会や検討委員会で検討し、図書館側の評価を委託業者に通知している。 報告事項3 令和5年度沖縄県立図書館利用者満足度調査報告 ○満足度調査の結果を受けてどのようなフィードバックを行っているか。 (回答)すぐに対応できる意見は対応するようにしている。すぐに対応できない意見に関しては、対応できるよう検討しているが、すぐに対応できない理由等は周知していないので、今後は周知する方法も検討する。 協議事項1 沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（令和5年度対象）について ○移動図書館の回数が減っているが、予算が確保できないからなのか、他に明確なビジョンがあって減らしたのか。 (回答)予算の確保は難しい課題であるが、限られた予算のなかで、どのような取組ができるか検討した結果である。移動図書館は、市町村の図書館づくりへの機運醸成等のへの取組であり、最終的な目標は、市町村が独自で図書館をつくることである。今後は、一括貸出の活用により市町村が独自に図書館をつくる方向に進めたいとの考えから、一括貸出に予算を振り分けたことにより、移動図書館の回数が減っている。

会議結果の公表

別紙 2/2

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和6年9月3日（火） 13:30～16:00
場 所	沖縄県立図書館 6 階研修室
会議の概要 (委員からの質疑等)	<委員意見> ○資料費予算が毎年減少している。開館 1 日あたりの貸出冊数も減少傾向にあり、資料費予算減少により資料を十分に揃えられず、それが貸出冊数減少にもつながっているのではないか等の視点で資料費予算減少による課題を分析し、予算確保に努めてほしい。 ○利用者満足度調査結果において、駐車場については満足度にそれほど影響を与えていない結果となっているが、新館に移転して数年が経過しているため、駐車料金に不満がある人は図書館を利用しなくなり、アンケートに反映されていない可能性がある。アンケートの自由記述欄には駐車場に関する不満の記載もあるため、駐車場についてはもう少し注視する必要があると感じる。 ○利用者満足度調査結果において、アンケートの自由記述欄に「小説や新刊が少ない（から増やしてほしい）」等の要望があるが、県立図書館のサービスが来館型に重きを置いて、県立図書館の役割について利用者に誤解を与えてはないか。県立図書館の役割、市町村立図書館の役割をPRすることが重要だと思う。 ※自主学習席の運用についても同様の意見あり。 ○郷土資料について、貸出禁止資料を館内閲覧を条件に他の図書館へ相互貸借ができれば、多くの人に見てもらえ、郷土資料に関する興味も高まってくるのではないかな。 ○図書館評価の評価方法について、活動指標は「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「大幅遅れ」、「未着手」と目標値に対しての達成度を5段階で評価しているが、成果指標は評価指標の基準値に対し「達成」、「未達成」のみである。これでは、基準値にわずかに満たない場合も大幅に満たない場合と同じ「未達成」になる。段階を増やす等で現状に近い評価になるのではないかな。 <協議結果等> 各委員の意見を参考に、後日、会長と事務局が調整し、外部評価コメントを作成することが確認された。